

広報

えびな

1/15日号

編集・発行 海老名市役所 市長室
 〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1
 ☎046(231)2111(代) ☎046(233)9118
 HP http://www.city.ebina.kanagawa.jp
 「広報えびな」は、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。
 問 同センター (☎237・3001)

「あなたのフィールドへ。海老名市」 新政策・都市ブランドの創出事業を展開中！ 企画政策課 (☎235・4635)



① ③火災予防運動期間中は夜間パトロールを実施。器具の点検も重要
 ④保険会社勤務の飯島さん
 ⑤造園業の飯島さん
 ⑥看板製作の飯島さん
 ⑦自動車整備士の飯島さん



消防団で広がる人の輪

消防団にあなたの力を

消防団では、新規団員を募集しています。市内在住・在勤の18歳以上の健康な方ならどなたでも応募できます。

◆消防団は市の消防機関

消防団は、市の消防機関の一つです。海老名市では1消防団を設置し、その傘下に15の分団が配置されています。現在200人を超える分団員が地域で活躍中です

◆地方公務員として身分を保障

団員は、地域の消防・防災のリーダーとして、地方公務員(非常勤特別職)の身分が保障されます。普段は自営業・サラリーマンの区別なく、本業を持ちながら、活動できます

◆報酬などを支給、補償制度あり

被服貸与、報酬支給。災害活動中のけがなどに対しては、補償制度を適用。

一定期間、団員として活動した方は、退団の際、退職報奨金が支給されます

◆消防・防災の最前線で活動

活動内容は、おおむね以下のとおりです。

◇災害の場合…消火活動、救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導

◇平常時…消火訓練、消火栓・防火水槽の点検、防火啓発活動、特別警戒。

※所属する分団は、原則として居住または勤務する地域の分団です。

問 お近くの消防分団または消防本部(☎231・0355)へ。

▶分団長の海谷さん



仕事をもちながら、地域防災の最前線で活躍する消防団のみなさん。今回は、海老名市消防団第8分団の紹介です。

「他の分団や他市の団員などとも交流でき、仲間が増えていくのが楽しみ」と分団員のみなさんも口をそろえます。仲間づくり・交流が、仕事面でもプラスに働くことも多いそうです。

「年齢も職種もさまざまなメンバーが集まって一緒に活動し、消防や仕事・プライベートについて何でも相談し合える。そんな仲間に出会えたのがうれしい」と海谷さん。「消防団に入ってもらえば、やりがいや楽しさが分かりますよ」と新たな仲間への加入を心待ちにしています。

また、分団の雰囲気や人間関係については「消防団は『厳しい』だけのイメージがあるようですが、それは違います。確かに訓練は厳しい。が、それは消火活動中に迅速・的確な動作ができないと、分団員本人も危険にさらされるからです。でも、活動時以外は、上下関係なく和気あいあいですよ」と話します。

分団長は海谷正志さん(東柏ヶ谷在住・37歳)。「団員はみな働き盛りの年齢。勤務先の理解があつてこそ活動を続けていける」と話します。会社員・自営を問わず、仕事をとおすかにはできません。このため団員には「仕事を優先するように」と伝えていきます。海谷さん自身も大工という仕事柄、建築現場が市から遠いときには、出勤できないことがあるとのこと。

第8分団は、柏ヶ谷地域と東柏ヶ谷地域を担当。市内15の消防分団中、最も多い世帯を受け持ちます。分団員は現在13人。自営業4人、学生1人、サラリーマンが8人という構成です。分団の活動は、平常時は月1回程度、日曜日に実施するほか、火災予防運動期間中のパトロールなどは平日の夜間に行います。